

向こう 1 か月の天候の見通し

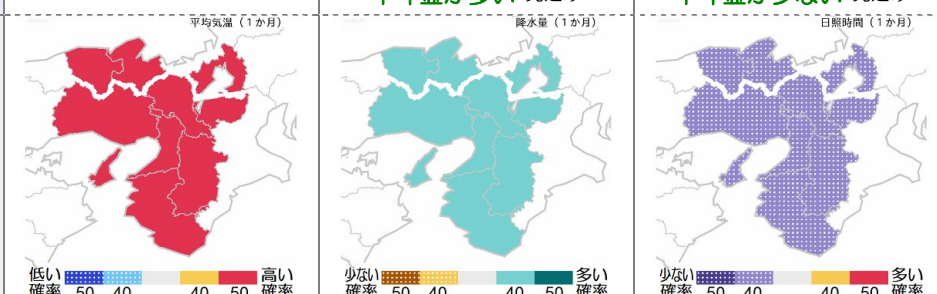
近畿地方（5 月 26 日～6 月 25 日）

大阪管区气象台

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすく、向こう 1 か月の平均気温は高い見込みです。
- 低気圧や前線の影響を受けやすく、向こう 1 か月の降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込みです。

1 か月の平均気温・降水量・日照時間

		平均気温（1 か月）	降水量（1 か月）	日照時間（1 か月）
近畿	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側		少 20 並 40 多 40% 平年並か多い見込み	少 40 並 40 多 20% 平年並か少ない見込み
 <p>数値は予想される出現確率です</p>		<p>平均気温（1 か月）</p> <p>低い確率 (%) 50 40 40 50 高い確率 (%)</p> <p>平年並も 40% 以上</p>	<p>降水量（1 か月）</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>平年並も 40% 以上</p>	<p>日照時間（1 か月）</p> <p>少ない確率 (%) 50 40 40 50 多い確率 (%)</p> <p>平年並も 40% 以上</p>

週別の天候

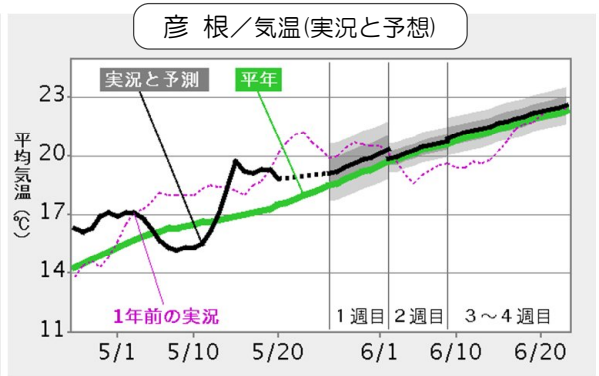
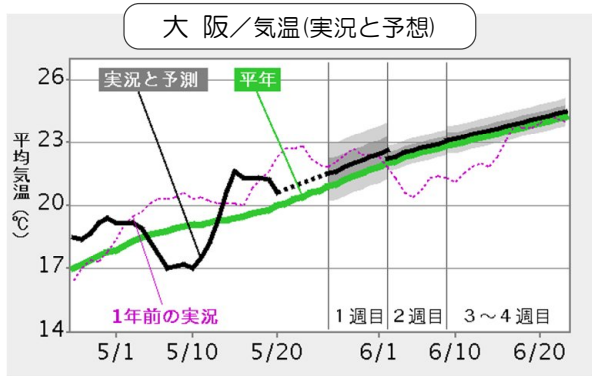
(1 週目) 5/26～6/1	(2 週目) 6/2～8	(3～4 週目) 6/9～22
<p>期間のはじめは高気圧に覆われて概ね晴れますが、その後は低気圧や前線の影響で雲が広がりやすく、期間の中頃は雨となる見込みです。</p>	<p>日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。</p> <p>太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。</p>	<p>低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多い見込みです。</p>

明日から 1 週間の、日別の天気や気温などは、週間天気予報 (<http://www.jma.go.jp/jp/week/>) を参照してください。

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

週別の平均気温

	平均気温（1 週目） 5/26～6/1	平均気温（2 週目） 6/2～8	平均気温（3～4 週目） 6/9～22
近畿地方	低 20 並 30 高 50% 高い 見込み	低 20 並 50 高 30% 平年並 の見込み	低 20 並 40 高 40% 平年並か高い 見込み
数値は予想される 出現確率です	平均気温（1週目） 	平均気温（2週目） 	平均気温（3～4週目）
	低い確率 (%) 以上 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 以上 50	低い確率 (%) 以上 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 以上 50	低い確率 (%) 以上 50 40 平年並も40% 高い確率 (%) 以上 50

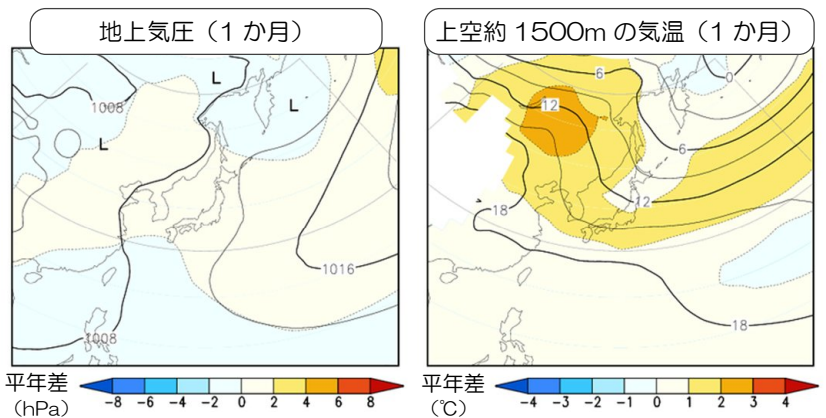


ほかの地点の気温（実況と予想）グラフは、
気象庁ホームページ
<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/longfcst/tjikeiretu/index.php>
で公開しています。

予想の気温は、週別の平均的な気温の見込みを黒い太線で表しています。信頼の程度が40%の幅を濃い網掛けで、70%の幅を薄い網掛けで示しています。今年、昨年の実況は7日平均気温です。

数値予報モデルによる予測結果

1 か月平均の地上気圧（左図）は、日本付近は全体的には高い予測ですが、九州の西から関東の東海上では相対的に低い予測となっています。
上空約 1500m の気温（右図）は、日本付近は全体的には高い予測となっています。



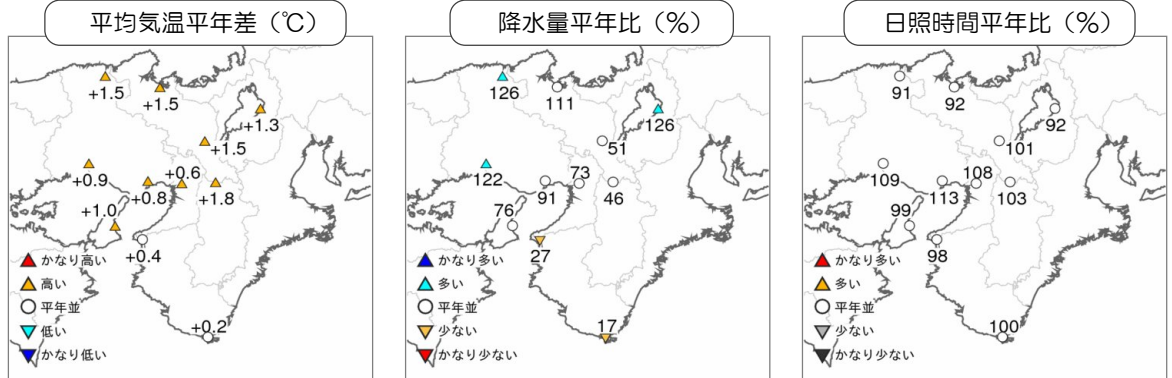
季節予報では、よく似た初期値から出発した多数の数値予報結果を利用します（アンサンブル予報）。多数の結果の平均（上図など）から大気の状態を判断し、また結果のパラツキ具合から予報の信頼度や確率を計算します。

最近 1 週間の天候経過（実況）

5/17~23

天気は数日の周期で変わりましたが、18日から19日にかけては、日本海から南下した前線の影響で広い範囲で大雨となりました。

また、近畿地方の平均気温は、昨日までの1週間は暖かい空気が流れ込んだ影響で、平年に比べ高くなりました。



(実況) 5/17~23		平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
近畿	日本海側	+1.0℃ (高い)	121% (多い)	92% (平年並)
	太平洋側		63% (平年並)	104% (平年並)

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 (1 か月)	平均気温 (1 週目)	平均気温 (2 週目)	平均気温 (3-4 週目)
近畿地方	平年差：-0.2~+0.3℃	平年差：-0.4~+0.6℃	平年差：-0.3~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.4℃
彦根	20.3~20.8℃	18.5~19.6℃	19.7~20.6℃	21.1~21.8℃
大阪	22.4~23.0℃	21.0~22.0℃	22.0~22.9℃	23.2~23.9℃

	降水量 (1 か月)	日照時間 (1 か月)
近畿日本海側	平年比：76~111%	平年比：93~111%
近畿太平洋側	平年比：81~108%	平年比：93~109%
彦根	106.6~152.9mm	149.4~176.3 時間
大阪	103.3~152.9mm	149.8~177.5 時間

「平年並」の範囲は、同時期の過去 30 年間（1981-2010 年）の値から統計的に求めています。30 年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30 年間の 30 個のデータのうち、値が高い（多い）方から 11~20 番目となる 10 個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。また、実況の分布図にある「かなり高い（多い）」などは、高い（多い）方から 3 番目までの値に相当します。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	1 か月		1 週目		2 週目		3~4 週目	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
彦根	14.2 日	9.4 日	4.1 日	1.9 日	4.0 日	2.0 日	6.1 日	5.5 日
大阪	14.4 日	9.1 日	4.1 日	1.8 日	3.9 日	1.8 日	6.4 日	5.4 日

「晴れ日数」は「日照時間が日照時間の 40% 以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量 1mm 以上」の日数です。この 2 つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率 (低い (少ない) : 平年並 : 高い (多い))	解 説
高い (多い) 確率が 50% 以上	高い (多い) 見込み
(20 : 40 : 40)	平年並が高い (多い) 見込み
平年並の確率が 50% 以上	平年並の見込み
(40 : 30 : 30) (30 : 40 : 30) (30 : 30 : 40)	ほぼ平年並の見込み
(40 : 40 : 20)	平年並が低い (少ない) 見込み
低い (少ない) 確率が 50% 以上	低い (少ない) 見込み